

第 12 分科会 地域に飛び出す図書館～読書推進アドバイザーの活動を通して～

司会者 大深 めぐみ(塩尻市立図書館)

発表者 松本 美幸(塩尻市読書推進アドバイザー)

I. 発表の概要

途中に絵本の読み聞かせを織り交ぜながら、読書推進アドバイザーの活動について紹介。

1. 活動報告

主な活動としては、①読み聞かせボランティアを対象にした勉強会、②志学館高校での読み聞かせ講習、パネルシアター制作・発表、③高齢者施設での読み聞かせ、職員への研修、④市内小中学校 AET へのパネルシアター講座、⑤長野教育フォーラム講師(パネリスト)、⑥市内小中学校朝読書、⑦塩尻市立図書館理科読プログラムの作成、⑧図書館で配布する年齢別絵本リストの見直し(絵本の選定、コメント) などを行った。

図書館の外に出向き、いろいろな方と話すことで、地域にはあまり知られていない図書館の役割を外に広めることも意識して活動している。

2. 新たに始めた企画

- ライブラリーコンサート…本の可能性を広げる目的。
- 1日読み聞かせ会…本だけでどれくらいの人を呼べるか試す目的。想定より多くの方が来場され、長時間参加される方もおり、本の持つ力を再認識した。
- 朗読とワインを楽しむひととき…H28 年度はカフェとして開催。大人にもお話を楽しんでもらいたいという気持ちから実施した。ふだんおはなし会には参加のない高齢の男性も多かった。
- 子ども本の寺子屋…コーディネーターの役割を果たした。
- 読書推進アドバイザーおすすめ本の棚…好評で貸し出しが多い。
- 絵本作家講演会…アポの取り方など、はじめは分からない部分も多かったが、まず行動することが重要。

3. 塩尻市読書活動グループ連絡会について

塩尻市を拠点として読み聞かせを行っている団体が所属(現在 16 団体)。持ち回りで役員を務めていただき、事務局は塩尻市立図書館とすることで円滑な運営が行えるようにしている。

アドバイザーとしては、図書館職員とボランティアの橋渡しの役割をしている。

ボランティアに対しては、常にスキルアップを図るための手助けをするとともに、緊急時にも連絡が取れるようにしておくことで、安心して頼っていただける環境をつくっている。

4. その他

読書推進アドバイザーの活動をする上では、保育士の経験や、絵本専門士の勉強をした経験などが生かされている。絵本を選ぶ際のアドバイスとしては、本の評価だけでなく、自分が面白いと思ったかどうかを基準としてほしい。

II. まとめ

図書館において、司書は図書館をしっかり守り、読書アドバイザーは地域に出向き図書館の仕事を広めていくという形で、しっかりと連携しあっていきたい。

塩尻市の取り組みを全国に発信するためにも、積極的に外に出ていきたい。